

イオン共通システムのインボイス制度対応について

2023年4月5日
イオンアイビス株式会社
小林 謙太郎

目次



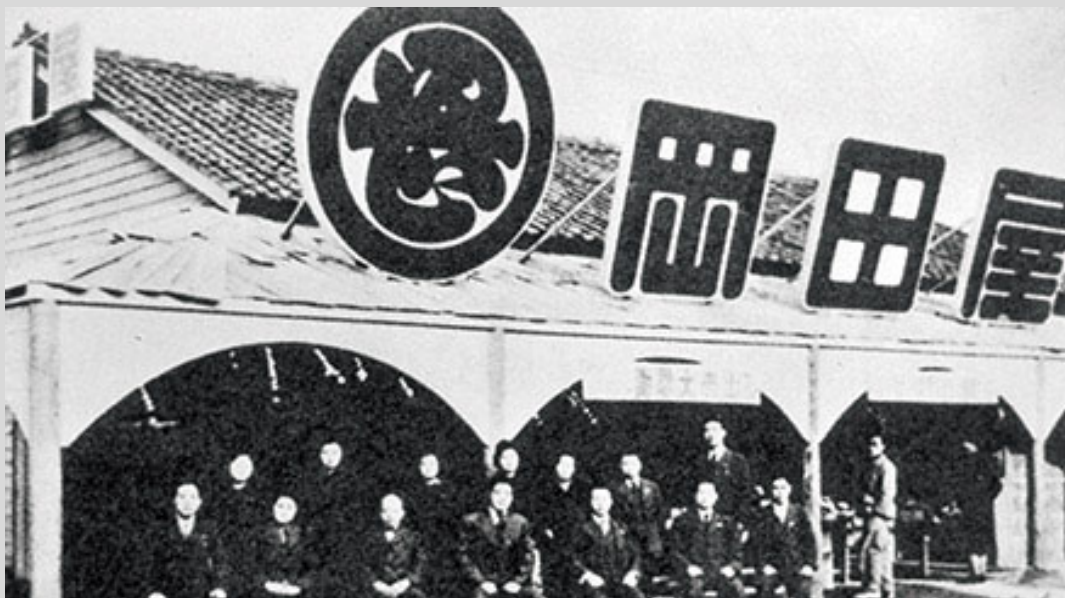
1. イオンについて
2. イオンアイビスについて
3. DXの取り組み
4. 2023年10月イオン共通システムの
インボイス制度対応について

1. イオンについて

An aerial photograph of a city skyline, heavily tinted with a light blue color. The image shows numerous skyscrapers and modern buildings, with a prominent white, curved structure in the foreground. The text '1. イオンについて' is overlaid in the center in a dark blue font.

創業265年

1758年（宝暦8年）



誕生54年

1969年（昭和44年）ジャスコ創業
1989年（平成元年）イオン誕生



AEON

イオンについて (海外事業を含む)

営業収益

8兆7,159億円

グループ従業員数

約56万人

イオン連結カード会員数
(イオンフィナンシャルサービス)

約4,732万人

店舗数/事業所

20,008店/カ所

植樹本数

約1,241万本

An aerial photograph of a city skyline, heavily tinted with a light blue color. The image shows numerous skyscrapers and modern buildings, with a large, prominent white-roofed structure in the foreground. The text '2. イオンアイビスについて' is overlaid in the center in a dark blue font.

2. イオンアイビスについて

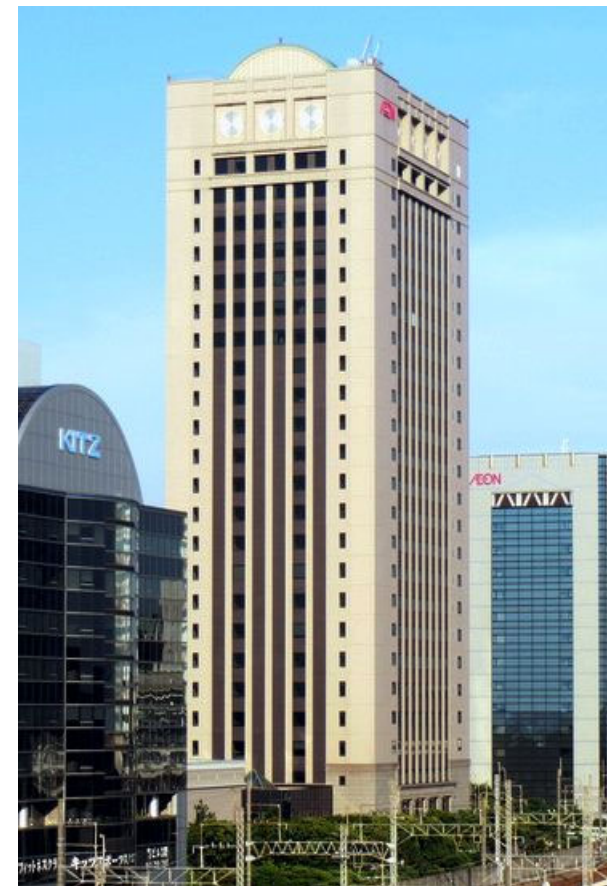
イオンアイビス会社概要

国内外300社以上に及ぶイオングループのITソリューション企業です。イオングループの『IT機能会社』として、グループ共通システム・事業別システムの企画・開発・運用、及びグループ各社の人事・経理業務等の受託業務（シェアードサービス）の運営を行っております。

- **会社名：イオンアイビス（株）**
(英名：AEON Integrated Business Service Co., Ltd.)
- **売上：345億円（2022年度）**
- **設立：2009年8月**
- **資本金：4億9千万円**
- **所在地：千葉県千葉市美浜区**
- **社長：金子 淳史（かねこ あつし）**
- **従業員数：約1,120名**
- **株主構成：イオン株式会社100%**

<提供サービス>

- **ITシステムサービス**
POSレジシステム（5万台/4,200店）
MDシステム（GMS、SM、小型店）
会計・人事システム 等
- **シェアードサービス**
経理・会計業務、給与・社会保険・福利厚生
などのバックオフィス業務



イオンアイビス会社概要


ジャスコ(株)情報システム部を前身として、2009年に設立。300を超える企業数、52万人の従業員が働くイオングループ。その進化をIT面で支えることで、人と社会に貢献します。



小売業をイオンアイビスがITで支える



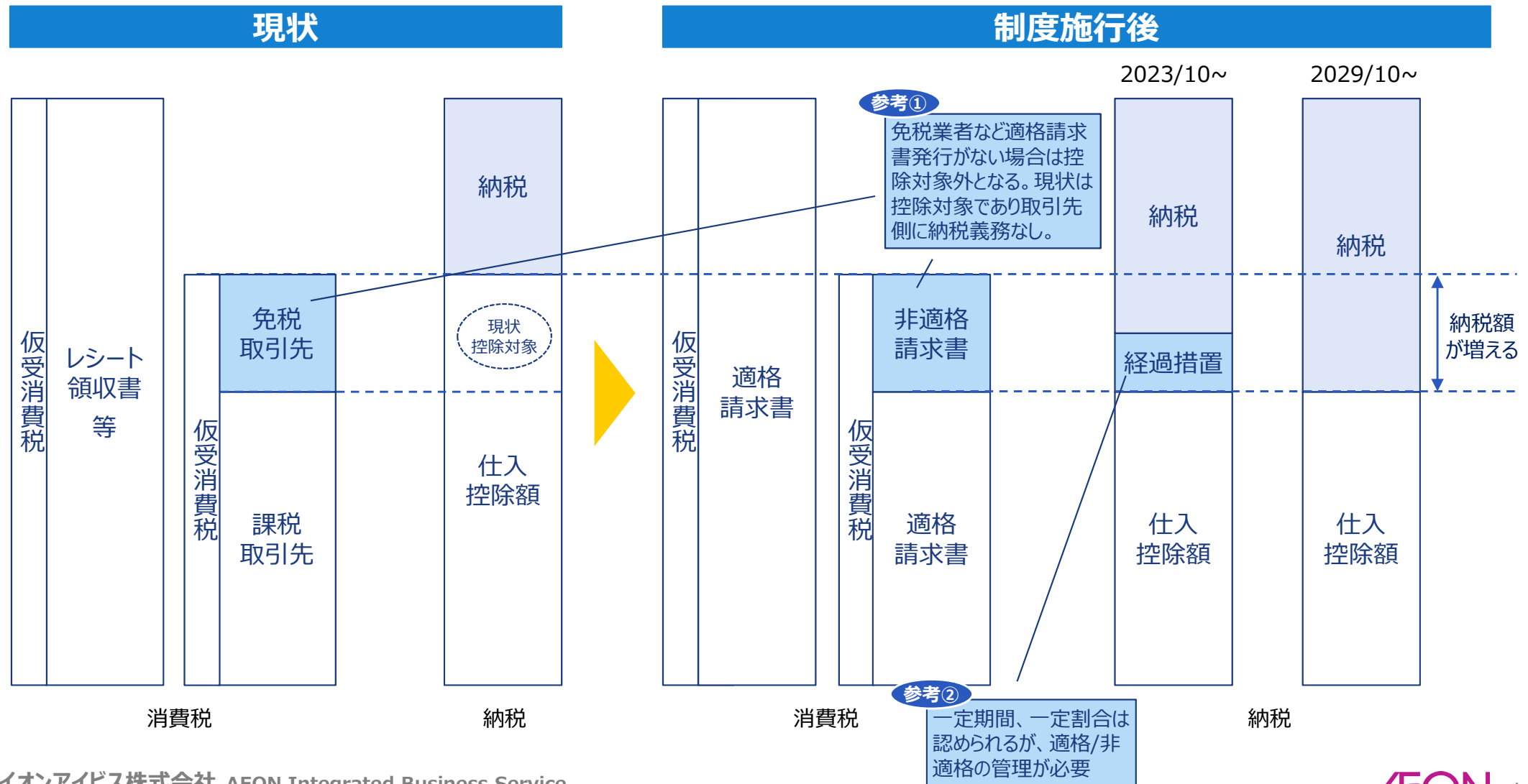
アイビス担当範囲

An aerial photograph of a city skyline, likely Tokyo, with a blue overlay. The image shows various skyscrapers and buildings, with a prominent white building in the foreground. The text is centered over the image.

4. 2023年10月イオン共通システムの インボイス制度対応について

インボイス制度の概要

- ① インボイス制度施行後、仕入税額控除対象は適格請求書受領分のみ認められるため納税額が増加する。
- ② 適格請求書が受領できない取引（免税事業者との取引等）は控除対象外となる。…参考①
- ③ 経過措置として、一定期間適格請求書未受領分も一定割合(80,50%) 控除対象となる。…参考②



インボイス制度に基づくシステム対応（対仕入取引先）

1 登録番号表示 (売手)	<ul style="list-style-type: none">● レシート及び領収書に登録番号を表示する● 請求書に登録番号を表示する● 登録番号を管理するマスタの構築、各システムとの送受信を行う
2 登録番号表示 (買手)	<ul style="list-style-type: none">● 商品仕入については、買手にて支払通知書への登録番号表示を行う● 相手先の登録番号管理● 仕入割戻相殺の仕入値引き表記対応
3 税計算方法 変更	<ul style="list-style-type: none">● 適格請求書の消費税計算を、請求書単位、かつ税率ごとに1回とする（現状は明細単位の計算）● 伝票単位の計算の修正、相殺の本体価格化
4 返還インボイス	<ul style="list-style-type: none">● レシート及び領収書に元取引日を表示する● 仕入返品時に元取引日を登録・記載する
5 課税仕入控除	<ul style="list-style-type: none">● 課税業者の登録番号をマスタ管理し、免税業者を判別する● 税コードを新設し、免税業者取引の場合に設定する
6 リポート表記 変更	<ul style="list-style-type: none">● 相殺を売手と買手に分け、買手（リポート）は仕入として処理するように変更する
7 インボイス保存	<ul style="list-style-type: none">● システムで発行するインボイス帳票やデータを、電子帳簿保存法に適用したサービスを活用し、データ保存を実施する

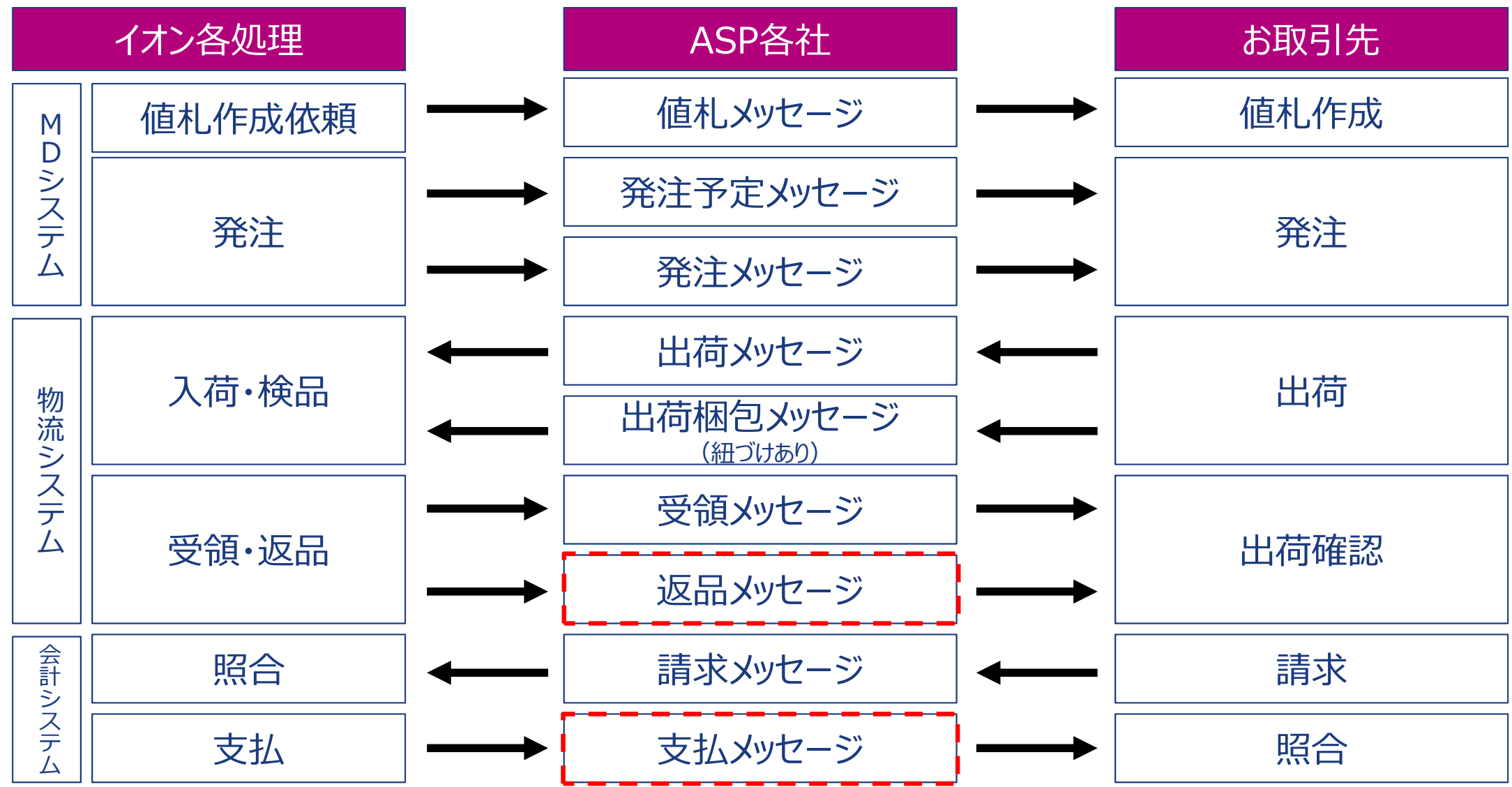
詳細説明
A

詳細説明
B

詳細説明
C

流通BMSでの変更点（変更する対象メッセージ）

- イオンの流通BMSでは、以下9つのメッセージを利用しお取引先様とデータ交換を行っております。
- そのうち、インボイス対応として点線赤枠部分の2メッセージについて変更を行います。



流通BMSでの変更点（変更メッセージの対応内容）

- インボイス対応として、インボイス要件となる登録番号、及び返還インボイスの要件となる元取引日（返品時）を追加します。
元取引日追加に伴い、返品時に元取引日毎に伝票を分割します。
- 相殺に売手買手が存在するため、買手相殺用に仕入割戻欄を追加します。

■ 各種メッセージの変更点（赤字部分）

データ種類 (メッセージ)	システム改修前		システム改修後		
	登録番号 (適格請求書発行事業者)	元取引日 (返品)	登録番号 (適格請求書発行事業者)	仕入割戻欄	元取引日 (返品)
返品メッセージ	無	無	無	無	有
支払メッセージ	無	無	有	有	無

※請求メッセージは従来通り伝票単位に照合するため、複数税率請求を束ねる「請求鑑メッセージ」は採用しません。

■ 伝票分割

返品時、元取引日毎に伝票を分割します。（手書き伝票も同様）

流通BMSでの変更点（支払メッセージの変更内容）

- 支払メッセージに対し以下の変更を行います。

対応	内容	詳細
①登録番号の追加	お支払案内書への登録番号を表記	お支払案内書には商品代金と相殺金額があるためお取引先さまと小売りの両方の登録番号を表記します
②振込手数料の相殺対応	振込手数料を相殺の1項目として表記	振込手数料を相殺項目とし、相殺金額としてまとめて消費税を計算するように対応します
③内税商品の税抜き表示	内税商品の仕入額を税込みから税抜きに変更	内税商品の仕入額を税込み金額から税抜き金額に変更します
④内税消費税の振込消費税への加算	消費税に内税消費税の消費税を加算	③の内税商品税抜き対応と併せて消費税に内税商品の消費税を加算します
⑤リベート表記変更	リベートを相殺から仕入に変更	相殺を売手と買手に分け買手(リベート)については仕入として処理するように変更します

流通BMSでの変更点（支払メッセージの変更内容）

お取引先さま登録番号収集状況

- 3月7日時点 72%の収集状況
- 公開情報から取得後、各お取引先さまへ確認のアンケートを送付。
- アンケートの回答状況：14,728社/20,429社
- この後、順次マスターへ登録、テストを実施。

【参考】流通BMSでの変更点（支払メッセージの変更一覧）

No.	対応	支払メッセージ変更内容					
		支払内容	支払内容名	支払内容 (個別)	支払内容(個別名)	税抜税込	備考
1	登録番号追加	3003	支払額	9001	卸・メーカー名を全角で格納する	—	登録番号 (新規)
		3003	支払額	9002	卸・メーカー名を全角で格納する	—	登録番号 (新規)
2	振込手数料を相殺項目 に変更	3003	支払額	0002	振込手数料	税抜	ゼロ固定
		3003	支払額	0003	振込手数料消費税	税込	ゼロ固定
		3003	支払額	0006	通常商品振込手数料	税抜	ゼロ固定
		3003	支払額	0007	通常商品振込手数料消費税	税込	ゼロ固定
		3003	支払額	1202	10振込手数料	税抜	ゼロ固定
		3003	支払額	1203	10振込手数料消費税	税込	ゼロ固定
		3003	支払額	1206	10通常商品振込手数料	税抜	ゼロ固定
		3003	支払額	1207	10通常商品振込手数料消費税	税込	ゼロ固定
3	内税商品を税込金額 から税抜金額へ変更	1001	仕入明細	0010	10標準税率仕入明細	外税：税抜	
		3001	相殺前支払額	0004		内税：税込⇒税抜	
4	支払消費税を内税消費 税込みに変更	3001	相殺前支払額	0002	支払消費税(外税)⇒支払消費税	—	
		3001	相殺前支払額	1202	10支払消費税(外税)⇒10支払消費税	—	
5	レポートを相殺項目 から個別表示に変更	1005	仕入割戻明細	1110	10標準税率仕入割戻明細	非課税・外税：税抜 内税：税抜	仕入割戻 (新規)
		3001	相殺前支払額	0007	仕入割戻計		仕入割戻 (新規)
		3001	相殺前支払額	1207	10仕入割戻計		仕入割戻 (新規)

返還インボイスの対応（流通BMS返品メッセージの変更内容）

- インボイス対応として返品メッセージに項目を追加します。（返還インボイス）
 - ・追加項目 : 元取引日
 - ・変更内容 : 現状の「基本形 Ver_1.3」の未使用項目にセットします

項目ID	項目名	項目説明	データ型	長さ	注
59	202	税	税率	任意	数字 (小数点以下1桁有り) Numeric 3 発注
60	217	梱包情報	梱包NO	任意	数字 Identifier MAX36 返品
61	231	コメント	自由使用欄	任意	文字 Text MAX60 返品
62	232	コメント	自由使用欄半角カナ	任意	文字 (半角カナ) Text MAX60 返品

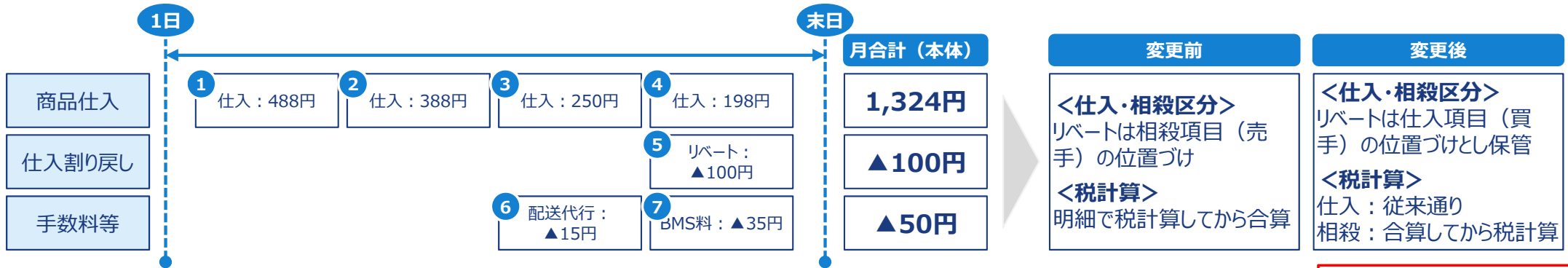
61 の自由使用欄に、「元取引日」をセット（直近で仕入れた日）
 ※YYYYMMDDの8桁を予定

発注～出荷～受領メッセージ連携変更点

- 発注～出荷～受領情報については、インボイス開始に伴う項目、数値の変更はありません。
今まで通りの項目で連携を行います。

レポート表記の変更内容（概要）

- リポート相殺に対し以下の変更が発生します。
 (変更前) リポートは売手の位置づけ。税計算は伝票単位。
 (変更後) リポートは買手の位置づけへ変更し、インボイス保管する。相殺のみ合算してから税計算。



変更前				
区分	該当伝票	本体価格	税 (10%)	税込
仕入 (買手)	①	488	49	536
	②	388	39	426
	③	250	25	275
	④	198	20	217
	小計	1,324	133	A 1,457
相殺 (売手)	⑤	▲100	▲10	▲110
	⑥	▲15	▲2	▲17
	⑦	▲35	▲4	▲39
	小計	▲150	▲16	B ▲166
合計		1,174	117	C 1,291

変更点：合算してから税計算

変更後				
区分	該当伝票	本体価格	税 (10%)	税込
仕入 (買手)	①	488	49	536
	②	388	39	426
	③	250	25	275
	④	198	20	217
	⑤	▲100	▲10	▲110
	小計	1,224	123	A 1,347
相殺 (売手)	⑥	▲15	—	—
	⑦	▲35	—	—
	小計	▲50	▲5	B ▲55
合計		1,174	118	C 1,292

変更点：仕入（買手）へ変更し、かつ伝票単位での帳票保管（インボイス）が必要になる

A + B = C ※支払額が変わる

レポート表記の変更内容（消費税計算変更）

- インボイス開始に伴い、レポートの消費税計算を明細単位からレポート合計1回計算に変更します。

実績契約（明細型）の消費税計算

明細型の場合(例えば商品A10円、商品B20円)は明細単位でレポート計算、消費税計算を行っている為、インボイス要件(消費税端数処理1回)を満たしていない

【対応方針】

請求書利用に関わらず、明細単位で計算したレポート額を、合計で消費税算出するよう変更。
(商品A10円、商品B20円の合計額30円に対し消費税を計算するように変更)

イメージ

例) 軽減8% 端数切捨

変更前			
明細	税抜	税	税込
商品A	744	59	803
商品B	155	12	167
商品C	91	7	98
合計請求額	990	78	1068

変更後			
明細	税抜	税	税込
商品A	744	-	-
商品B	155	-	-
商品C	91	-	-
合計請求額	990	79	1069

【参考】リポート表記の変更内容（請求書イメージ）

リポートから出力可能な請求書について、事業会社、取引先の両方の登録番号を印字する。
 ※事業会社欄はすでに区分記載請求の対応で実施済みの認識。（登録番号は別途共有する）

リポートシステム発行の請求書（現状）

御請求書

No. 100018757620220320
 発行日付: 2022年06月20日

_____(株) 御中

イオンリテール株式会社

下記のとおり御請求申し上げます。

〒261-8515
 千葉県千葉市中瀬1丁目5番地1
 Tel:
 部署:
 担当: _____

請求金額 ¥48,512 (税込)

内 訳	消費税率	税抜金額	消費税	税込金額
契約:1000187576(2022/03/20) (包)RDC 02月度 _____(株) 計算期間:2022/01/21~2022/02/20	軽減8%	¥0	¥0	¥0
	10%	¥44,102	¥4,410	¥48,512
合 計		¥44,102	¥4,410	¥48,512

リポートシステム発行の請求書（対応想定）

御請求書

No. 100018757620220320
 発行日付: 2022年06月20日

_____(株) (XXXXXXXXXXXX) 御中

イオンリテール株式会社 (XXXXXXXXXXXX)

下記のとおり御請求申し

“取引先”の登録番号を
記載

〒261-8515
 千葉県千葉市中瀬1丁目5番地1
 Tel:
 部署: “事業会社”の登録番号を
担当: AI _____ 記載

請求金額 ¥48,512 (税込)

内 訳	消費税率	税抜金額	消費税	税込金額
契約:1000187576(2022/03/20) (包)RDC 02月度 _____(株) 計算期間:2022/01/21~2022/02/20	軽減8%	¥0	¥0	¥0
	10%	¥44,102	¥4,410	¥48,512
合 計		¥44,102	¥4,410	¥48,512

【参考】支払案内書イメージ(商品代金、リベート共通)

■ インボイス対応として、支払案内書、支払内訳書、支払明細書の表記内容の変更を行います。
【お支払案内書】

06月28日 SEQ 1578
17分03秒 頁 1

お支払案内

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

“事業会社”の登録番号を記載

“取引先”の登録番号を記載

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

相殺明細書の項目に“売買区分”を追加

様 (47295)

内訳	金額	件数
仕入計 ①	786904	72
返品計 ②	0	0
仕入割戻計 ③	-180	1
支払消費税 ④	63097	72
①+②+③+④ 相殺前お支払額 ⑤	849891	73
前月繰越高	0	
その他相殺額	675	
消費税	68	
相殺計 ⑥	743	
⑤-⑥(⑦)	849148	
相殺後お支払額		
通常商品代金 ⑧	849148	
お支払額	849148	

SEQ	相殺コード	相殺項目	売買区分	税区	相殺額	管轄部署	電話番号	摘要
1	037	流通BMS利用料支払伝票	買	00	75	東京センター	043-299-3560	
2	995	仕入割戻金(商品企画、その他)	買	00	100	取引管理センター		
3	999	振込手数料	買	00	600	総務サポートセンター		

表示を変更 → (外税) を削除

“仕入計”には内税部門は税込みで計上されているが、今回、税抜に変更し、“支払消費税”に消費税額を積み上げる。

表示を変更 → 振込手数料項目削除
→ 委託関連項目削除

“振込手数料”を相殺項目に追加 (“相殺額”は他の相殺と同様、税抜表記)

相殺明細書の相殺項目で売買区分が“買(買手)”の場合、支払内訳書の“仕入割戻計”、“仕入割戻消費税”に印字する。
“仕入割戻計”はマイナス表記とし、税抜金額で表示する。
“支払消費税”は①②③の消費税の積上とします。

売買区分の補足説明を記載

お支払額マイナスのお取引様へ
お支払内訳表の内容をお確かめ下さいませ。又、御不要の点がございましたら、下記部署宛、御連絡下さい。尚、内容に問題なき場合、次回に相殺させて頂きます。

税区分 無表示 ... 外税 非 ... 非課税
内 ... 内税

上記の相殺金額に付きましては、貴社に対する商品代金より、差引計算させて頂きましたので、ご通知申し上げます。尚、もし引き分に付きましては、領収証は発行致しませんので、ご了承願います。

売買区分
売買区分が買手の場合、支払明細書の“仕入割戻計”に記載
売買区分が売手の場合、支払明細書の“相殺計”に記載

【参考】支払内訳書イメージ(商品代金、リポート共通)

【お支払内訳書】

お支払内訳書 (10%) 日 SEQ 2302

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 秒 頁 1

(お支払日) 22年07月11日

(締日) 22年06月20日

“取引先”の登録番号を記載

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

“事業会社”の登録番号を記載

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

相殺明細表の項目に“売買区分”を追加

SEQ	相殺コード	相殺項目	税区	相殺額	管轄部署	電話番号	摘要
1	037	流通BMS利用料支払伝票	00	75	東京センター	043-299-3560	
2	995	仕入割戻金(商品企画、その他)	00	1.00	取引管理改定チーム		
3	988	振込手数料	00	6.00	経理サポートセンター		

相殺明細表の相殺項目で売買区分が“買(買手)”の場合、支払内訳書の“仕入割戻計”、“仕入割戻消費税”に印字する。

“仕入割戻計”はマイナス表記とし、税抜金額で表示する。

“支払消費税”は①②③の消費税の積上とします。

“振込手数料”を相殺項目に追加 (“相殺額”は他の相殺と同様、税抜表記)

＜支払内訳表＞			
内訳	金額	件数	
仕入計 ①	786,004	72	
返品計 ②	0	0	
仕入割戻計 ③	-1.00	1	
支払消費税 ④	63,097	72	
①+②+③+④	849,891	73	
相殺前お支払額 ⑤			
前月繰越高	0		
その他相殺額	675		
消費税	68		
相殺計 ⑥	743		
⑤-⑥(⑦)	849,148		
相殺後お支払額			
通常商品代金 ⑧	849,148		
お支払額	849,148		

表示を変更
→ (外税) を削除

“仕入計”には内税部門は税込みで計上されているが、今回、税抜に変更し、“支払消費税”に消費税額を積み上げる。

表示を変更
→ 振込手数料項目削除
→ 委託関連項目削除

表示を変更
→ 振込手数料項目削除
→ 委託関連項目削除

売買区分の補足説明を記載

売買区分
売買区分が買手の場合、支払明細書の“仕入割戻計”に記載
売買区分が売手の場合、支払明細書の“相殺計”に記載

お支払額マイナスのお取引様へ
お支払内訳表の内容をお確かめ下さいませ。又、御不要の点がございましたら、下記部署宛、御連絡下さい。尚、内容に問題なき場合、次回に相殺させて頂きます。

税区分 無表示 ... 外税 非 ... 非課税
内 ... 内税

上記の相殺金額に付きましては、貴社に対する商品代金より、差引計算させて頂きましたので、ご通知申し上げます。尚、差引分につきましては、領収証は発行致しませんので、ご了承願います。

【参考】支払明細書イメージ(商品代金、リベート共通)

【支払明細表】

支払明細表(軽減8%)										(お支払日) 22年07月11日 処理日 2022年06月28日 SEQ 32236							
										(締 日) 22年06月20日 処理時刻 02時17分28秒 頁 1							
取引先コード	取引先名	登録番号	伝票No.	税区	お支払	元計上年月日	レコードNo.	センター	計上年月日	店	部門	伝票No.	税区	お支払	元計上年月日	レコードNo.	センター
1	22/05/21	04273	002	00067094	8*	3780	007227521	04852	51	22/06/14	00426	002	00725931	8*	17000	004908409	04852
2	22/05/21	00426	002	00067095	8*	3780	007158080	04852	52	22/06/14	00407	007	00726014	8*	3325	004906140	04852
				35423	8*	4785	009813246	04896	53	22/06/16	00466	002	00726205	8*	13750	004904977	04852
				65808	8*	5040	007057075	04852	54	22/06/16	00407	002	00726206	8*	15220	004989985	04852
				24299	8*	32200	008573371	04852	55	22/06/16	00407	007	00726207	8*	7840	004989987	04852
				24300	8*	36120	004949740	04852	56	22/06/17	00426	002	00726209	8*	9910	004816825	04852
				24445	8*	32200	005388570	04852	57	22/06/16	00407	007	00726255	8*	10500	004989989	04852
				24446	8*	32430	007158335	04852	58	22/06/17	04273	002	00726319	8*	9540	004882367	04852
9	22/05/21	00407	002	00724530	8*	7270	007158335	04852	002	00777396	8*	12830	007156947	04896	007156947	04896	
10	22/05/21	00466	002	00724531	8*	9185	007158335	04852	007	00777399	8*	5670	005902778	04896	005902778	04896	
11	22/05/24	00466	002	00724667	8*	6135	005420	005420	002	00777400	8*	11160	007270973	04896	007270973	04896	
12	22/05/24	00407	002	00724668	8*	10010	005420	005420	002	00777401	8*	39900	005008073	04896	005008073	04896	
13	22/05/24	00426	002	00724669	8*	29330	005420	005420	002	00777402	8*	10720	009816073	04896	009816073	04896	
14	22/05/24	00426	002	00724670	8*	4900	005420	005420	007	00777403	8*	17500	009836078	04896	009836078	04896	
15	22/05/24	00426	007	00724671	8*	4075	005420	005420	002	00777404	8*	7850	007262043	04896	007262043	04896	
16	22/06/16	04273	007	00724674	8*	23520	005057	005057	002	00777405	8*	13300	005477509	04896	005477509	04896	
17	22/06/02	00466	002	00724797	8*	2980	009871	009871	002	00777406	8*	17070	005477252	04896	005477252	04896	
18	22/06/02	00488	002	00724798	8*	5060	009871	009871	002	00777407	8*	2160	004335250	04896	004335250	04896	
19	22/06/04	00426	002	00724799	8*	16080	007097026	04852	69	22/06/16	00414	002	00777408	8*	19278	004990588	04896
20	22/06/03	04273	002	00724800	8*	5510	007319877	04852	70	22/06/16	00414	007	00777409	8*	11900	004990590	04896
21	22/05/26	00407	002	00724829	8*	2830	007013779	04852	71	22/06/16	00414	002	00777410	8*	10470	004990592	04896
22	22/05/26	00407	007	00724830	8*	10930	007013784	04852	72								
23	22/05/26	00466	002	00724831	8*	4555	007024083	04852	73								
24	22/05/27	00426	002	00724902	8*	20990	005703754	04852	74								
25	22/05/27	00426	007	00724903	8*	14875	005703757	04852	75								
26	22/05/27	04273	002	00724904	8*	6640	005722863	04852	76								
27	22/05/31	00407	002	00724948	8*	1205	009834993	04852	77								
28	22/05/31	00466	002	00724949	8*	2400	009841420	04852	78								
29	22/05/31	00488	002	00724950	8*	2530	009881860	04852	79								
30	22/05/31	00407	007	00724986	8*	4935	009834996	04852	80								
31	22/05/31	00426	002	00725129	8*	8560	009837260	04852	81								
32	22/05/31	00407	007	00725130	8*	11165	009835000	04852	82								
33	22/06/02	00466	002	00725337	8*	4985	009877680	04852	83								
34	22/06/02	00407	002	00725338	8*	6940	009873374	04852	84								
35	22/06/04	00426	002	00725339	8*	26860	007097029	04852	85								
36	22/06/04	00426	002	00725340	8*	15095	007097031	04852	86								
37	22/06/03	04273	002	00725342	8*	14850	007319878	04852	87								
38	22/06/03	04273	002	00725343	8*	2800	007319879	04852	88								
39	22/06/14	04273	007	00725344	8*	3500	004973334	04852	89								
40	22/06/04	00426	007	00725345	8*	20405	007097038	04852	90								
41	22/06/07	00466	002	00725472	8*	2770	005706622	04852	91								
42	22/06/07	00407	002	00725473	8*	4325	005702981	04852	92								
43	22/06/09	00407	002	00725715	8*	6525	007405308	04852	93								
44	22/06/09	00466	002	00725716	8*	3810	007414673	04852	94								
45	22/06/09	00488	002	00725717	8*	1265	007417369	04852	95								
46	22/06/09	00426	002	00725719	8*	13265	007409174	04852	96								
47	22/06/09	04273	002	00725720	8*	3820	007481093	04852	97								
48	22/06/14	00407	007	00725798	8*	8876	004906135	04852	98								
49	22/06/14	00407	002	00725928	8*	2770	004906137	04852	99								
50	22/06/14	00466	002	00725929	8*	4245	004911702	04852	100								

“取引先”の登録番号を記載

“税額”項目を“元計上年月日”に変更する。
※元計上年月日は返品伝票で利用。元計上日を設定

“委託計”項目を削除

(伝票区分) 00, 01, 20, 64・・・仕入伝票 21, 30, 39, 65・・・仕入伝票センター経由
66, 71, 73, 78・・・仕入伝票EOS
67, 72, 74, 79・・・仕入伝票EOSセンター経由
50・・・返品伝票 80・・・返品伝票センター経由
(税区) 60, 61・・・取引伝票 90, 95, 41, 42・・・仕入・返品修正分
数字表示・・・外税商品(伝票記載の原価金額が税込のもの)の消費税率
外・・・外税商品
内・・・内税商品(伝票記載の原価金額が税込のもの)
注) *印は軽減税率(8%)対象伝票

	外税商品④		その他商品⑤		(④+⑤)合計	
	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数
仕入計①	779704	71	0	0	779704	71
返品計②	0	0	0	0	0	0
(①+②)合計計	779704	71	0	0	779704	71

最終ページには取引先合計、それ以外のページにはページ合計が表示されます。

【インボイス】お取引先さまへのご案内について

お取引先さまへは、6月より順次、関連帳票の送付に合わせて書面及び流通BMSのWeb上にてご案内いたします。

誰に	何を	どのように	送付内容	送付範囲	いつまでに
仕入先	お支払案内書（紙） お支払内訳書（紙） お支払明細書（紙）	既存帳票に同封（別案内としない）	サンプルデータを配布	既存帳票に合わせて同封	6月初
仕入先	お支払案内書（流通BMS） お支払内訳書（流通BMS） お支払明細書（流通BMS）	流通BMS上への案内掲載	サンプルデータを掲載	流通BMSに掲載	7月初
仕入先	イオングループ総括請求書	変更なしのため不要	対応不要	対応不要	対応不要
仕入先	専用請求明細表	変更なしのため不要	対応不要	対応不要	対応不要
レポート相殺先	レポート確定額内訳書	※お支払案内書 変更の案内文に一文追記する	-	-	-
消化仕入業者	コンセ仕入相殺明細書（紙）	サンプルデータを印刷して手渡し	サンプルデータを配布	既存帳票に合わせて同封	6月初
消化仕入業者	コンセ仕入相殺明細書（テナントポータル）	サンプルデータを印刷して手渡し	サンプルデータを配布	既存帳票に合わせて同封	6月初

【インボイス】お取引先さまへのご案内について

流通BMSを介しての、返品・支払データは、7月より順次ASPベンダー経由にて、テストデータを連携します。

流通BMS 統合テスト方針

- 返品メッセージ、支払メッセージのそれぞれを弊社内の連動テスト内で作成したメッセージを連携します。
- ASPベンダにデータを連携し、変換テストの実施をお願いします。
- 各ASPベンダ（インテック、富士通Japan、NTTCom）にて、テストデータ変換後のメッセージの取込テストを実施して頂く予定です。
- 各ASPベンダで作成したメッセージを、各お取引先さまにて取得し、確認いただく予定です。（お取引先さま数社とは、実際に取り込みの確認を行います）

ご清聴ありがとうございました。

